

# 泉の自治だより

題字は元東海運輸局長今井重男先生

No. 6

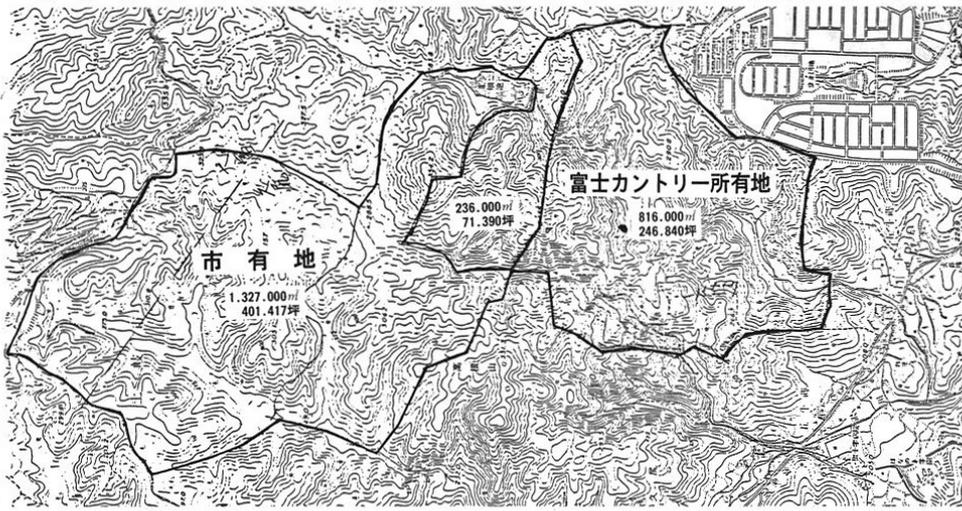
発行所 泉自治区連合会  
発行責任者 連 区 長  
事務局 (泉公民館内)  
土岐市泉町中竈町  
TEL 55-3653

心にきざまれるひとこと

夢をもちつづけば  
必ず実現する時が来る

ゲーテ (ドイツの文豪)

## 泉町を思う関心事シリーズ



夜明け前の新しい息吹が  
育ぐくまれつつある

泉の町に思う

泉の自治だよりもすでに創刊以来6号を迎えることが出来た。5号の一面に於て泉町を思う関心事(問題)シリーズと題して、差し当り11項目の課題を提供したところ各方面から種々のご意見ご批判を賜り心から感謝をしている次第である。泉連合区としては久尻区の分区分問題、ゴルフ場問題、市有地の住宅開発問題等が議論されて来た。これは新しい息吹が育ぐくまれつつある泉の夜明(活性化)前と感じられるがいかゞであるうか。

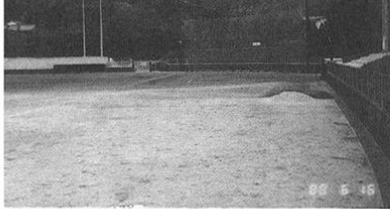
### 土岐市発展につながるゴルフ場

市議員 和田 全 弘



国は、土岐市に移転が進められている名大プラズマ研究所を「核融合研究所(仮称)」としてスタートさせるため新たに六十三年度で研究所創設準備費として五千万円を予算化した。これに土岐市を中心とした東濃西部研究学園都市構想の実現に大きな弾みがついてきました。更に、昨年六月に決定した全国一万四千\*の高規格幹線道路網計画のうち一般道の自動車専用道路としては、全国で初めてのルート開市——土岐市(東海環状自動車道)間が三月二十三日に建設省で決定され、着工も一年早まることとなりおおむね十年で完成されることになりました。更に来年度予算化される科学技術庁が計画している無重量落下実験施設と通産省が新素材開発のため「超高温材料センター」の施設候補地に土岐市が上つています。研究都市の建設は東海環状テクノベルト形成に大きく寄与すると共に陶磁器産業を主体として一体的発展をしている当地域にとつて、産業の高度化、経済の活性化に大きな影響を及ぼすことは云うに及ばず、プラズマ核融合の国際的学術研究の拠点に相応する都市環境を創出することによ

り中部を代表する国際文化都市への脱皮をも可能とするものであります。今後、産学共同研究都市化に伴う諸研究機関の立地、他産業の誘致などが想定され、そのための用地確保に目が向き丘陵地開発へと議論が進むことになるでしょう。今、土岐市は研究都市の顔となる土岐市駅周辺の再開発を進めています。昭和五十五年の人口、土岐市六万五千人、多治見市七万四千人、現在、土岐市六万六千人、多治見市九万人となり、土岐市微増、多治見市は大巾に伸びています。駅周辺再開発の成否にも人口増は不可欠であり、研究機能、産業機能を立地させるために新しい居住地開発が必要となるのです。土岐市は泉北住宅団地の北西隣接地(富士カントリー関連会社、富士グリーン所有)を住居地開発として色塗しています。富士カントリーより申込みのあった土岐市所有地である奥地(可児市境)と、売買による換地での土地の有効利用を計ります。新しい居住地を開発する構想なのです。ゴルフはV



「ツ」です。昨年の全国ゴルフ場への総入場者数七千七百万人、前年より七%も伸びています。又企業の週休二日制に加え、来年からは官庁の土曜閉庁が予定され、さらに文部省は「学校五日制」導入のため、来年度から、幼、小、中、高校六十四校を実験に指定するなど、「五日制社会」へ向けて速度を増すことになり、ますますゴルフは大衆化されていくものと思われまます。昨年来、富士カントリーのゴルフ場増設問題が議論されていますが、前記の様に富士カントリー以外では土岐市にとって何のメリットもないのです。将来、研究都市化とともに知的研究者、技術者が定住できる研究都市に想応しい緑を生かすことが、土岐市発展のために、いま最も必要施策であると確信致します。

#### 営業時間のご案内

土岐本店	☎54-1234 AM 9:30~PM 8:00
駅前店	☎54-1814 AM 10:00~PM 7:00
定林寺店	☎54-5795 AM 10:00~PM 7:00
サンマート	☎55-1234 AM 10:00~PM 9:00
サンモール	☎55-1117 AM 10:00~PM 11:00
トーエー	☎59-8203 AM 10:00~PM 7:00
ファミリーレストラン ポパイ	☎55-5335 AM 11:00~PM 10:00
CAFE ジョアンナ	☎23-7474 AM 9:00~PM 12:00
季節料理・しゃぶしゃぶ 庵	☎55-1118 AM 11:00~PM 10:00

いい人・いい街・いい暮らし

## 主婦の店

### 三起屋ファミリーカード会員募集中!!

特典

- ① 5%のご優待割引 (食品は除外) 但し、食品についてもカードの使用はできません。
- ② 特別御優待セールへご案内
- ③ 恵那峡ランド・かわいボーリングセンター・多治見大映入场券特別割引

くわしくは  
1F・3F  
サービス  
コーナーへ



## 三起屋百貨店

土岐市泉町久尻 42-11  
TEL 0572-55-5011

私の政治日記より

公害について



市会議員 加藤 藤介

毎回の自治会だより、私ものしく拝読しております。今回、土岐市の公害について寄稿を依頼されましたので早速市役所環境課に出向き調査をしてまいりました。土岐市の公害行政は、産業関連工場を中心とする産業公害の防止に努めてまいりましたが、法規制の強化や行政指導、企業の努力などにより土岐川水質の浄化、良好な大気環境の確保に成果が上っております。今後は産業公害の防止とともに日常生活に伴う生活排水、近隣騒音、廃棄物の適正処理など依然として解決しなければならぬ問題も多くあります。最近、土岐市全般として問題になっております公害の主なことは、肥田町の窯業化学製品から発生する悪臭と駄知町の窯業原料焼成設置中であるため、今後七

年間は出来ないとの回答でした。その外、特に注意すべきことは県外からと思われる不法投棄が賤ヶ洞、大徳原球場奥、五斗崎奥の三ヶ所に年間二十〜三十件発見されたことであります。投棄物は殆んど古い家財道具であります。いずれも地元住民の皆さんからの通報で判明したので環境課で後始末をいたしました。これからも充分な監視を地元の方々にお願いをいたします。また小さな公害とし仲々後を退かないのが犬、猫による糞の苦情です。特に犬の散歩時の放棄の不始末には近所迷惑になっております。飼主の注意が必要です。飼主のほかに、本年春頃一時はありませぬか。

最近東海三県下における下水道工事に係る贈取贈事等なかなか後を退きませぬ。政治公害を徹底的に撲滅することが国民の願いであります。住みよしい土岐市を創るためにも、すべての公害を一掃し、明るい街にしようではありませんか。

この議会で決定する総合産業文化施設の内容は？



以下は市当局へ答審された文書であるが昭和64年度に着工される予定の施設内容の決定はこの議会でなされるはずだ。

本市の基幹産業である陶磁器産業は、新製品の開発、技術革新等近代化が図られ、市の発展を支える産業の基盤として大きな役割を果たしてきた。

しかし、今後の産業振興を図るために、特化した単一産業形態から産業の高度化、複合化を図るため、新規・先端産業の導入が必要であり、現在工業団地の造成、企業誘致が積極的に進められている。

一方、商業は土岐市駅周辺と旧町村を単位とする狭い範囲の商圏に依存してきたが、消費者動向は隣接県市への流出が顕著である。今後商業の振興を図るために、市の玄関である駅周辺の近代的な商店街づくりは緊要であり、市街地再開発事業の計画づくりが進められている。

今般審議した産業文化施設は、本市産業の育成強化を図るとともに産業活動の拠点として位置づけるものとする。

これは、第三次土岐市総合計画の精神に基づくものであり、本施設は恵まれた立地条件を活かして、「会合の場」「見る場」「勉強する場」そして「交流の場」など市民が幅広く利用できる機能を有し、かつ駅周辺の振興のために市民をはじめ他地域からも人を集めることのできる、コンベンション機能を有した、求心力のある施設でなければならない。

今後の地域経済の活性化のひとつの要件として、この産業文化施設が有効に活用されることを期待するものである。

機能面からみた望ましい施設

- 〈会合の場〉・産業見本市、展示会等大規模なイベントを開催することが可能な多目的大ホールの設置
- ・各種会議の開催可能な機能を備えた大小会議室の設置
- ・各種経済団体の事務所の設置
- 〈見る場〉・美濃焼製品をはじめとする物産展示と美術ギャラリーの設置
- 〈勉強する場〉・まちの歴史、情報等未来コーナー、カルチャー教室の設置
- 〈交流の場〉・サロン、ロビー、レストランと公園施設の設置
- 〈その他〉・地場産業活性化に関連する施設の設置

付帯意見

- 1、医師会館の移転、及び東側道路の取付け位置の変更により、有効な土地利用を図ること
- 1、まちのシンボルとなるような建物にすること
- 1、インテリジェントビルとしての機能を考慮すること
- 1、駐車場を確保すること
- 1、施設の充実のため、積極的な事業費増額を図ること
- 1、経営感覚を取入れて管理運営を図ること



読賣新聞

こんな気持ちで変わりました。新しい読売新聞です。

あなたと一緒に、始まります。あなたと一緒に、広がります。現読はもちろん他紙読者にも「まごころ販売」でつくします。



読売新聞 土岐専売所  
所長 三浦 隆 司  
土岐市泉町大富264の3  
☎《0572》54-7007



地元の新聞 皆様の中日新聞

チラシで潤う家庭経済  
明るい家庭に中日新聞

取扱新聞 中日新聞・中日スポーツ・日本経済新聞  
中部経済新聞・証券新聞・工業新聞・英  
字新聞 他20種類

土岐市泉町中央町

中日新聞平岡新聞舗

TEL 55-2335

# 新しい校風づくりをめざす泉中教育

## 〈生徒指導を重点とした学校経営〉

泉中学校校長 岡田 田 修



泉中学校は、四十年の伝統を誇る学校であり、文化、体育面共に素晴らしい活動をして、天下の泉中として注目を集め、県下で論議、泉町民各位の絶大なご援助を心からお願いする次第であります。

時代が十数年続き、「泉中を負い越せ、負い抜け」の合言葉が他の学校で起り畏敬される程であった。

しかし、列島改造、経済成長の波に乗って市外地周辺の田畑は次第に宅地になり、パイパスが走り、人口は急増していった。そこに住む人々の中には、教育力に欠ける家庭もちらちらと見え、都市化の様相を呈し、泉中学校も千名近い生徒数に急増していった。そして、社会風潮におし流されたが、生徒たちの一部の中には、問題行動に走る者も現われ、かつての泉中の規律・活力・統制さが乱れ始めたのは事実であり、現実問題として、その建て直しに深刻な問題として泉中の大きな課題となってきた。

そのために、今こそ教師は何をなすべきか、そして今、何から手を打つべきか、全職員の見地から生徒指導を重点として、全職員で取り組むことが重要課題である。

幸いにして、泉町の土地柄は教育熱心な風土があり、学校と地域は一体となって結びつく土壌をもった地であるので、あらゆる場を通して、地域ぐるみの教育をお願いしているところであり、泉中教育でめざしている概要を掲載させていただきます。

一、学校経営の姿勢

○先手必勝 先を見通して手を打つ。一週間おくれれば一月の損、おくれれば一年の損。

○自己必勝 切実な心からにしみ出る迫力のある姿でせまらる。

○生徒と対決 教師と生徒の心のふれ合い、魂と魂のぶつかり合いでせまらる。

○一貫徹底 基本的な生活習慣に力点を置き、子どもの姿に現れるまで徹底して指導にあたる。

○職員一体 全員が一丸となって融け合い、微動だにせず、まっしぐらにその実現にたち向う。

○地域結束 地域ぐるみで子育てを実践してもらう。泉町の子は、すべて自分の子どもという意識をもつて。

特にPTAの応援を得る。

### 二、生徒を育てるための、親と教師の共通姿勢

- 1) 生徒を育てるのは根からである。少しでも手をゆるめれば野に生える雑草となる。
- 2) 生徒に注意したり、ほめたりしない日は、欠けたら、親の不在と同じである。
- 3) 叱るときは、理由を言いつて本気で注意する。
- 4) 甘やかして、生徒に受けをよくしようとするのは子どもを駄目にする。
- 5) 動物物は逆境にあるとき最大能力を発揮する。苦しいとき、困難にぶつかったときに、難力ある者が育つ。
- 6) 親や教師の不統一の言動や、お元氣屋なことばは、生徒を迷わせ、いじけさせる。
- 7) 教育は愛情と熱意が基本である。いいわ、いいわでは、気のぬけたビールのように心に刺激を与えない。
- 8) 心のふれあいの場、感動の場をより多くつくつ。
- 9) よいことは、おかげさなほめ、悪いことは悪いとしたきびしさをもち。

### 三、問題行動を未然に防止するために。

- 1) 生徒のもっている不満の中味を早期にしかも的確につかむ。
- 2) 教師と生徒との好ましい人間関係をつくる。
- 3) 差別と偏見のない学校ふんい気をつくる。
- 4) 道徳教育を大切にすること。
- 5) 生徒が学校での存在感があり相互に支え合える学校をつくる。
- 6) 毅然たる態度で、是非は是非と教師の統一した指導をする。
- 7) 決めたことは貫き通すという一貫徹底のある指導をする。
- 8) 家庭と密なる連携がとれ、地域ぐるみで問題にとりくめる学校をつくる。
- 9) 生徒会が中心となり、自分達で問題を解決しようとする自主性を育てる。
- 10) 小・中三校の連絡を密にする。

### 四、地固め教育

泉中の地盤が以前と比べ、ゆるんだのではないかと批判の声が聞こえてくる。今や、地固めをすることが急務である。

「こんな学校にしよう!」

泉中の校風は、校門に入つた途端に体にびんと感ずるものがある。具体的に、こんな姿に、……

おおれ、校内にはゴミがなく、道具はきちんと整理され、校内はしんと静まりかえり、しかし、教室からは力のこもった声や、生徒が必ず波状効果として出て

## 今後の市内の高校のあり方

泉中学校PTA会長 高橋 一 樹



東濃地方には現在多くの公・私立高等学校がありほとんどの中学卒業生が入学出来る様になっています。又都市部では考えられない立派な進学率が多く、羨ましがられる所です。しかしそれら高等学校への入学希望の変遷が出ており、どちらかと言うと成績の良い者は多治見市内の高校への希望が強く、普通科では土岐市内とは差があり又途中退学者も多そうです。関係者は何かと一レベルの学校になる様慮慮されています。要するにもっと成績の良い者が魅力を感じる学校にすれば良いのであつた途端に体にびんと感ずるものがある。具体的に、こんな姿に、……

これからは土岐市の将来のビジョンを見つめ、マ研究所という大きなプロジェクトがあり、それとそれに伴う大手企業の進出が必ず波状効果として出てくるので、その時の為の人材確保が問題視されます。たとえばハイテク産業での高度な事務処理・コンピュータ使用によるノウハウ等、今までに評価されなかつた技術処理能力が可視視される環境になる。その時の為の高等学校教育に対するメスを入れ、普通科を出て大学に行き技術を身に付けるには一部が達成人材に育つのでそれより専門課程で基礎的な事を身に付けて技能高上を目指す高専でも十分働ける人材作りの出来る教育環境作りを考えてはと思ひ、現在ある土岐市内の高校の普通科を減らしてその様な新しい時代マッチした科を作れば各学校の内容もよりよい方向にはないか。そういう人材の出来る街作りをするれば企業進出も多くなり又地場産業も刺激されて良い物が製造出来ると思ひ、若い者の地場定着に弾みがかかるのではないのでしょうか。

若い人はカッコよく魅力ある会社を望みます。それならそういう企業を東濃へもってこける人材あふれる街作りが、そして人材が作られる学校の内容が大事ではないでしょうか。

校のようすを知っていたきたいと思ひます。

電話番号 五五・〇〇六六の番号をまわして、受話機を取つて下さい。

家具とインテリアの店

# 山本家具

住居(すまい)のことなら、どんなことでも御相談下さい。

岐阜県土岐市泉町平和町  
TEL (0572) 55-3451

日本建築協会認定  
美濃焼  
登祿焼  
秋上瓦  
系ひき饅頭  
不老柿

贈るにのせに子をおるを

水野屋

# 昭和63年度土木要望事項(駅前区)

- 東本町
  - 一、流水路整備、土岐市駅
  - 二、市道、県道のレベル整備、長江進宅東側
  - 三、防火用水点検清掃、泉農協支店前
  - 四、ガードレール新設、右岸、旭橋下流
  - 本町
    - 一、川底への階段新設、中央小橋西方側側
    - 中央町
      - 一、公園整備、榎ノ木公園
      - 池埋立てと砂場の変更
      - 二、ガードレールの新設、旭橋下流右岸
      - 三、川底への階段新設、安京橋上流、旭木橋間、ケ所以上
      - 西本町(一)
        - 一、舗装修理、西公園北側
        - 伊の川沿い(2ヶ所)
        - 二、放送施設の点検改善、ミキヤ主婦の店間
        - 三、公民館新設、トキソ産業跡地
        - 新土岐津東
          - 一、雨水用、水路の点検対策強化、町内側溝、久尻川への下水路全域
          - 二、街灯の新設、明堂橋北西5メートルの地点
          - 三、川底の土砂等除去、堀井橋下流、土岐川合流ま



## 泉の歴史シリーズ

### 泉のれいめい

泉村合併前の各村(河合村、定林寺村、大富村、久尻村)の名が初めて歴史上に出てくるのは、高田勅使田からのようである。今から約七百年前、伏見天皇の後宮、昭慶門院喜子内親王に高田勅使田(高田郷)外二箇所をたまわつたことに始まる。高田勅使田とは現在の明世町、泉町の付近をさしている。その後、後醍醐天皇の第二皇子世良親王を養子とせられ、これを伝えられた。親王死後、室町准后が遺領を管理しておられたが、その後世良親王のご冥福を祈るため、当時虎溪山水保

高田町に名残りをとめる有様となった。又高田郷の中心でもあった高田明神は、大富白山神社として残り、地頭土岐頼貞の居城高田城は、大富館跡としてその名残りをとどめている。猶頼貞の娘婿の土居遠江守貞秀は高田勅使田の代官として、定林寺村字土居の地に居住した。その屋敷跡には長く藤や土居が長く残されてきた。その土べいの土は、明治三十五年の中央線開通時に線路構築に使われたとされている。江戸時代にはほとんど発達して、河合村、定林寺村、大富村、久尻村の四ヶ村となり、明治の始めの生産状況は次の通りであった。

- 定林寺村 三三五、三石
  - 大富村 八七五、八石
  - 久尻村 六〇四、九石
- おことわり  
前号の古墳時代の文中、三陶磁器業と各種産業の発達  
・ 陶磁器業  
・ 農業  
・ 鉱業  
・ 商業  
四交通々信の発達と教育文化  
・ 交通々信  
・ 教育  
五村から町へ、そして市へ  
・ 各村のすがた  
・ 村、町から市へ  
・ 各区のあゆみ  
六くらしと宗教文化  
・ 庶民のくらし  
・ 神社  
・ 寺院  
・ 石造物

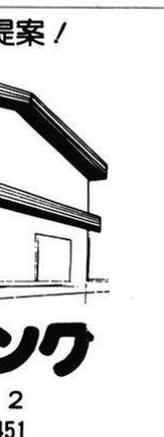
豊かな住まいづくりと暮らしをご提案!

**カネヤマハウジング**  
〒509-51 土岐市 泉森下町 2  
TEL (0572)54-3195(代) FAX (0572)54-8451

かくの如く高田勅使田に始まった我が郷土は幾多の変遷を経て明治に至つた

以上の様にこの度昭和63年度の土木要望事項として市事務局にお願いたしました。実現に向けてご努力下さる様切望してやみません。

お願い  
明治七年に政府の命令により江戸時代の小字が統合され、現在の土地台帳の字名に変わりました。この江戸時代の地名が、その土地の歴史を知る大きな手がかりになります。大富区にはそれがありません。他地区にはそれがありません。ついては江戸時代或いは明治初年の土地の地図等で小字名を知ることの出来る資料がありましたらよろしくお願いたします。其の他泉町誌編集上必要とおもわれる資料及び古写真(明治時代)絵図等(編集委員長田中鈴夫)



四、街灯照明アップ、和田製材裏通りから西へ土岐川に至る道路  
新土岐津西  
一、西公園代替地の整備  
外壁フェンス工事、平和タクシー  
二、水路改修、落差を設ける、兼山季男夫氏宅北三、防火用水点検補修、本荘宅西(ガード南)  
明堂橋、堀井橋間、伊の川北岸4ヶ所  
四、旧駄知線架橋撤去  
五、交通信号機新設、永久橋北(点滅)  
六、永久橋に歩道橋新設

泉町誌は企画以来半年有余を経過し、内容がためめ次のような内容構想をたて、執筆に入ることに決まりました。  
八新しき泉を求めて  
九年表  
各執筆者は三十五項目にわかれて熱心に構想をねり、分科会にわかれて話し合いをつづけております。必ず町民の皆さんのご要望に答えられる立派な本が出来る自信がついてきました。ぜひご期待下さい。

よって長大! みて長大! かって長大!

**カシヨップ 長大**  
営業時間  
AM 9:30 ~ PM 9:00  
土岐市泉神栄町2丁目62  
TEL 55-1844